









# 下肢静脈瘤術を受けられる患者様



患者様氏名:

受持医:

月日(日時)	/		/		/		/	
経過(病日等)	入院日(手術前日)		手術当日		手術後1日目		手術後2日目	
達成目標	◇手術の必要性を理解し手術に同意している ◇手術に必要な物品を準備できる		◇血圧・脈拍が安定している ◇創痛苦痛がコントロールできる ◇創部の出血や足の腫れがない		◇創部の出血や足の腫れがない ◇創痛がコントロールできる		【退院基準】 ◇創痛がコントロールできる ◇創部の発赤や腫れがない ◇退院後の生活が理解できる	
治療・薬剤	 <p>手術開始( )時頃</p> <p>入院時、持参のお薬をお預かりします</p> <p>午後には手術の場合には、点滴を行います。</p>		<p>点滴と酸素吸入を行う場合があります</p> 		<p>痛いときには痛み止めの薬があります</p>  <p>看護士にお知らせください</p>			
処置	手術部位を除毛します 医師により手術までに下肢静脈のマーキングをおこないます		傷は弾性包帯を巻いています		傷の消毒があります		医師の診察のみ、必要な場合のみ傷の消毒があります	
活動・安静度	制限はありません 		帰室後はベットアップ30度までのベッド上安静になります		尿管が抜けたら歩行できます 制限はありません		制限はありません	
食事	夕食後22時より絶食となります 		6時から飲水もやめて下さい 		帰室3時間後より飲水のみ可能となります		通常の食事が始まります 	
清潔	入浴出来ます				看護士が体を拭きます 		シャワー・洗髪が出来ます テープは貼ったままです。剥がれたら消毒をして絆創膏を貼ってください	
排泄	制限はありません		手術室にて尿管を入れます 排便時のみポータブルトイレへ移動することができます		尿管を抜きます、その後は動ける範囲で動いてかまいません		制限はありません	
患者様及びご家族への説明	入院生活・入院治療計画の説明があります 手術の説明があります(医師・看護士) 麻酔科医師の診察があります 弾性ストッキング持参なければ外科外来で採寸後、購入になります。 必要物品(T字帯1枚)を準備してください		ご家族の方は待合室でお待ちください		医師から手術後の説明があります 		退院後の生活について説明します 1.日常生活は無理をせず徐々に普段の生活を行ってください 2.足の腫れが強くなる時には、安静をはかって下さい 3.安静にしても足の発赤や腫れが強くなる時には、受診してください 4.入浴については医師の許可が出てからです、外来受診時に確認してください 5.下肢静脈還流を妨げる姿勢はさけてください 例)あぐら、正座、和式トイレ、長時間の立位	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。